

令和6年12月11日付【日本下水道新聞】

施設協、管路協、水コン協<中野国交大臣と意見交換>

下水道4団体 人材対策、災害対応に期待の声

中野国交大臣と意見交換

下水道4団体 人材対策、災害対応に期待の声

施設協、管路協、管理協、水コン協

下水道関係4団体のトップらが11月26日、中野洋昌国土交通大臣との意見交換に臨んだ。各団体からは官民連携の推進、人材確保への支援、物価

上昇への対応、強靱な上下水道の構築などを望む声寄せられた。

当日は、日本下水道施設業協会の北尾裕一会長、山口賢二副会長、日

本下水道管路管理業協会の長谷川健司会長、日本下水道施設管理業協会の西原幸志会長、全国上下水道コンサルタント協会の菅伸彦副会長が出席。

中野大臣は国土交通省出身で、旧下水道部で法規係長を務めた経験もある。席上、こうした自身の経験も交えながら関係団体との意見交換を行った。4団体の幹部からは、担い手確保が難しく人件費が上昇する中で、外国人受入も含め人材対策の必要性を訴えるとともに、価格上昇に速やかに対応し、中小規模の自治体も含めて災害対応が進められるよう、十分な予算措置を期待する声が上げられた。



各団体トップが出席

